



グローバル

NO. 97

こうのす国際交流市民の会

発行責任者 鈴木和子 Tel090-6035-3649
お問い合わせ Email hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp
発行日 2017年9月18日(月)

夏の甲子園、遂にやりました！ 花咲徳栄がついに埼玉へ優勝旗を運んでくれました！
アレッ？初めて？と思いましたが、過去春の優勝のみで、夏は初めてだそうです。
隣の高校ですし、随分身近に感じました。感慨に浸っている間に、もう9月です。早いですね。
何をやるにも一番適した季節の到来です！食べる！ 旅行する！ スポーツをする！
どうか天(候)の神様、大人しくしていて欲しい！！

そして、勉学に恰好の秋でもあります。



スペイン語初級講座“リリアナ・クラブ”スタート！！

このスペイン語クラブは、6月で終了した”スペイン語入門講座”の受講者から、7月以降も続けて欲しいとの要望があり、リリアナ先生の快諾を戴きクラブとしてスタートしました。
クラブの目標は、1, 2年後には簡単な日常会話を楽しめることです。

既存のスペイン語クラブ(8P巻末記載)と組み合わせて、活用しましょう！

原則、第2, 4日曜日 10:00~11:30

場所 田間宮生涯学習センター

会費 2400円

問い合わせ 佐々木 修治さん 090-2466-8857

10月22日(日) 田間宮生涯学習センターのセンターまつりに参加します。

① バザー

品物の提供ご協力お願い~大切な「会」の収入源になります。

手作り品・不要な物・リサイクル品(食べ物以外)

10月20日(金)に皆様から提供頂いた品物へのバザーでの値付け作業を行います(鈴木会長宅にて)

② 焼き菓子作り

こんなものを作りたいというアイデアをお持ちの方は是非連絡下さい。

10月21日(土) 9:00AM~

総合福祉センター(社会福祉協議会)の調理室で行います。・

③ 10月22日(日) 当日会場作り

8:00AM~会場作り。 会場への品物搬入等男手も必要です。

8:30AM 喫茶 ~15:30PM

皆様のご協力とお手伝いよろしくお願ひします。



ぶどう狩りツアー (ご報告)

大人 48名 子ども 2名 幼児 1名 総勢 51名

9月10日(日) 秋のバスツアーを催しました。

今年は、山梨へぶどう狩りバスツアーに行つて来ました。

予定行程は 朝8時に鴻巣発、勝沼にてぶどう狩り、昼食、ワイナリー見学、その後忍野八海へ行き、富士の清水で心身を浄めて夕方帰着。



期待していた通り、天気にも恵まれ、「ブドウ狩り」を堪能、ピ



オーネをお腹いっぱい食べました。



房が大きいでしょう？
太陽の下で食べるピオーネは美味しかったです。



色々な種類のぶどうがあるんですよ。

売店で、フィンガーズというぶどうや、シャーマンマスカット 甲斐路などの種類も試食しました。



ワイナリー見学前に記念写真撮りましょう！



見学にあたって、事前説明。
発酵樽はデカイですね！

日本のワインもヨーロッパワインに品質に匹敵するものも出てきていると言ってくれる方もいらっしゃるんですよー。



見学後、売店ではワインの試飲で皆赤ら顔、ゼリーもいっぱい頂きもう動けません。



ワインを堪能して、サア、次の行程の忍野八海へ、楽しみだなあ！！



と期待していたんですが、忍野八海では突如「台風のような天候」になり、バスからは一歩も出られず、ここは断念して一路、鴻巣へ。鴻巣着は午後8：00頃になりました。

皆様、お疲れ様でした、でも旅行を楽しみましたよね。

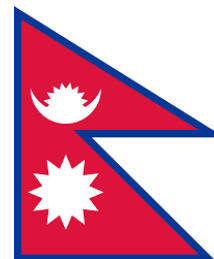
海外ボランティア ネパールのお話(ご報告)

高井正利

7月16日(日) PM2:00~4:00 市民活動センターにて、

“ネパールでの異文化生活体験”

というテーマで市川幸二さんに講演をして頂きました。



市川幸二さんのプロフィール

定年後、年金受給まで5年間の生き方として、成果を金額で判断しない、外国で生活したい等の理由から国際協力機構(JICA)シニア海外ボランティアにチャレンジすることを決めて2年間(2014/1~2016/1)ネパール(南アジア、インドと中国に囲まれた内陸国で人口2800万人)のカトマンズに単身赴任。帰国後は国際交流市民の会に入会、外国の人に日本語を教えるボランティアで現在活躍中です。



市川様の講演内容を以下紹介します。

ネパール国の紹介

首都はカトマンズ、宗教はヒンズー教(貧しい人に施しをする考え方)、仏教、イスラム教。民族は主にネワール族だがたくさん有る。言葉はネパール語、通貨はネパールルピー(1ルピー1.07円)。気候は亜熱帯気候、雨季(6-9)乾季(10-5)は寒い5度位、日本との時差3時間15分。



カースト制度による階級制度がある。農業が最大の産業で、工業製品はほぼインドから輸入、正確な戸籍はない。商業も未開、貧富の激しい差がある。情操教育・体育教育は学校では教えない。農業・料理・子育て・お祈りは女性の仕事で、若い男性は出稼ぎに行く。金持ちはオーストラリア、カナダへ留学、カトマンズは治安が良い。

カトマンズでの生活

カトマンズは政治の中心で生活インフラの電気は慢性的な電力不足が何十年も続いている。水は出るが汚く、冬季には2週間に1回程度しかシャワーを浴びない、下水は川に直接流している。ガスはLNGガスを使用している。街並みは金持ちの住宅はきれいだが、一般の街並みはごちゃごちゃしていて、ゴミは整頓されてなく動物との共存で汚い。

社会生活は農業中心の生活ですが携帯電話、スマホやインターネット利用が多い。食事は朝、夕の2食である、味付けはマサラ（香辛料）等ですぐ飽きる味付けである。間食にはカジャと呼ばれるものを食べる。住宅はレンガ造りで3-5階建てのアパート8畳くらいで3人家族が多い。レンガ造りの家は1-2月はとても寒い、交通状況は公共バス、オートバイ、自動車（韓国製）で大気汚染がひどい。オートバイだらけで大渋滞、道路標識や信号機がない。



ネパール人の生活、特徴

かつかつの生活だが見栄っ張り、競争心がなく、とてもフレンドリー、家族・民族内の利益を優先する、想像力がなくても生活できるので計画性・創造力が乏しいが情操教育援助がひつようであると感じた。

ネパールにはヒマラヤ等の世界遺産が多くあり、日本の常識を覆す光景は刺激的でドキドキ感を楽しめます。

2時間にわたる講演では判り易く解説していただき参考になり、有り難うございました。



エッセー

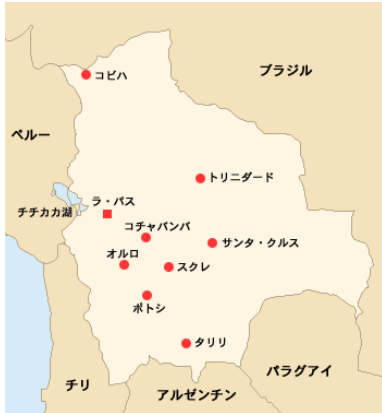
「チチャへの執念」(南米旅行記その2)



角田美和

ボリビアで、絶対やりたいことがありました。

コチャバンバという街に滞在して、その地域の地酒「チチャ」を飲むこと。



チチャとは、一般的にはトウモロコシのどぶろくと説明しますが、レシピは各家・各酒造の秘伝と言われ、色・酸味・発酵具合などは様々。南米・アンデス各地では割とスタンダードな飲み物です。事前にコチャバンバに詳しい研究者にその事を伝えると「どこでも飲める」とのこと。ので、安心して現地へ…

しかし全然見つからないのです。情報によるとチチャを提供している店は看板ではなく「旗(というより布切れと表現した

ほうが近い)」が出るといいます。



たった2泊という限られた時間に追われながら、街を、市場をさまよいますがそれらしき目印が見つかりませ

ん。そこで、本で読んで「特に美味しいチチャが飲めるらしいと評判」だと書かれていた近隣の町に行ってみることにしました。

いくつかあるうちの「タラータ」という町に決め、乗り合いタクシーで約30分。この乗り合いタクシーの乗り場を探すのも、前日の夕方うちにたくさんの人に聞いてなんとか発見…。着くと小さな町で、歩いてく

ると周れてしまう程度です。食堂らしきところで聞き込みをしますが、今は無いよ、と言われてしまいます。

体と胃が疲れていたのですがとりあえず、ブドウを発酵させたジュースとやらを飲むと眠くなってしまい、公園のベンチでしばらく休憩…もう困り果ててツーリストインフォメーションに頼ることにしました。



そこは博物館でもあり、文化センターでもありました。この地はスペイン人到来前、さらにはインカ帝国統治前から人が住んでおり、その時代の遺跡や物品がたくさん発掘されているんだそうです。館内に展示されている数々の「プレ・インカ」の時代の発掘物について熱心に説明をしてくれました。その建物では地元の女性が働いていて、彼女はスペイン語をほとんど話さず今でもケチュア語を話す人でした。

インフォメーションの学芸員さんもケチュア語の解る方で、しばし通訳を挟みながらその女性とも



お話しすることができ、さらにはお願いして三つ編みをしていただきました！

ボリビアで原住民の方に三つ編みをしてもらうのが夢のひとつだったので、ほんとうに嬉しかったです。伝統的な装いの女性たちは、長い三つ編みスタイルが定番で、毛先に装飾を着けたりしてオシャレを楽しんでいます。

これはチャンス、とすかさず「チチャ」が飲める所はないかと聞くと、有るけど夜にならないと開かないよと言われてしまいます。

困りました。夜になると乗り合いタクシーは走っておらず、不確かなチャータータクシーしかないとも言われました。それでもなんとかし

たくて悩んでいると、どうやら心当たりがあるという展開になり、そこへ一緒に連れて行ってくれることになったのです！

それは意外にも徒歩 2～3 分の距離でした。

扉を開けると、広い中庭になっていて、地元の人たちが点々とチチャを飲んでいます！空気はふんわりと発酵した香りが漂い、秘密基地のような感覚。

学芸員さんが、私のぶんのチチャを受け取って来てくれました。支払いは微々たる金額。

今思うと、商業的ではない地元の人向けのサービスの類いだったのかもしれませんが。結果的に昼間のうちに飲むことができ、かつ究極にローカルで、大満足でした。

その後、2～3 日お腹のガスが超活発だったのは予断です（笑）ケチュア語もアイマラ語も、ペルーやボリビアの現国境を越えて広くアンデス周辺の伝統的な言語です

今やボリビア国内でもケチュア語圏、アイマラ語圏は入り組んでいたりケチュアにアイマラが押され気味だったり複雑…

公用語のスペイン語を合わせると 3 言語話者となり、その人口はかなり多いらしいです。

実は今、都内の NGO で不定期開催の「ケチュア語サークル」に参加しています。

以前そこで開講されていたアイマラ語講座の受講を断念して以来ずっと後ろ髪引かれる気持ちでした。

その講師の先生主催の「部活動」に、参加することに！

最終的には「ワロチリ文書」という古文書を原文から読んでみようというテーマです。

ワロチリ文書とは？！スペインが支配していた 15～17 世紀の司祭が、キリスト教布教の際に先住民民族伝統や儀礼などについて纏め上げてケチュア語で書き記したものの。

ケチュア語やアイマラ語で書かれた本は大変貴重で、参考書も CD も日本ではとうてい手に入らないうえに、面倒だから、と先方が輸出も躊躇してるらしくなかなか出回らないんだとか。

正直、全然ついて行けそうにないのですが、頑張ってみます！





語学クラスの紹介

★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）
午後：7時～9時
講師：ボランティアの皆さん
場所：中央公民館
鴻巣駅から徒歩7分（鴻巣中学校前）
会費：無料
ボランティア先生募集
一緒に楽しみましょう！
連絡先：鈴木和子 ☎09060353649
臼田千鶴子☎08066381318

★初級スペイン語クラブ 誕生

会費 月2400円
場所 田間宮生涯学習センター
連絡先 佐々木修治 090-2466-8857

★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）
午後 1時30分～3時30分
講師：ボランティアの皆さん
場所：市民活動センター
（鴻巣駅前 アスリエビル 3F 中央図書館の上です。）
会費：無料
皆さんの周りで、日本語に困っている方はいませんか？ぜひこのクラスを紹介してください。
☆このクラスは子ども中心ですが、大人も学んでいます。子どもは学校の予習、復習、ドリル等を。大人は「日常生活に役立つ日本語」等を学んでいます。
連絡先：鈴木和子090-6035-3649

★スペイン語クラブ

授業：原則として
第1, 3土曜日午後2時～3:45
講師：リリアナさん（コロンビア出身）
場所：中央公民館
会費：1回 500円
連絡先：田上有三（代表） 08013175579
学習日 7月 8, 22日
☆世の中、これから益々グローバル化が進んでいきます。
英語以外の外国語も必要になってきています。
スペイン語をみんなで仲良く勉強して、これからの人生に役立てましょう。
みなさんの参加をお待ちしています。

★編集後記

松村淑子 記

いよいよ夏も終わりつつあります。皆様いかがお過ごしでしたか。
七月下旬の体温をも超える記録的な猛暑、酷暑には参りましたね。
ところが八月に入った途端雨、雨、雨、梅雨時をはるかに上回るこれも記録的な降雨量、長期間。これらは熱中症（高温でも高湿度でも）、集中豪雨、山（崖）崩れ、洪水、作物の不作等々ひどい影響を及ぼしました。晴れたのは八月末の何日間だけ。地球温暖化のせいらしいです。そろそろ爽やかな秋を迎えられると思っていたところそこに最悪のニュース。”北朝鮮のミサイル発射” どうすればいいのかしら……。気象も政情も不安だらけのこの頃です。地球、世界の平和を願うばかりです。